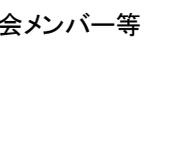


日本損害保険協会では、各地域の自治体・マスメディア・学校等と連携して様々な取組みを行うとともに、政府への積極的な提言等を通じてレジリエントな地域社会づくりを支援しております。

2016年度：防災・減災に向けた地域活動

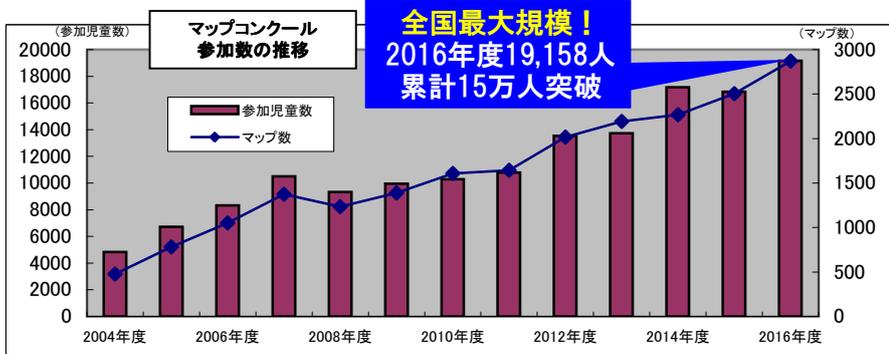
2016年8月 愛知県名古屋市 「親子で学ぶ防災・減災ピクニック」	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：愛知県内の親子（参加者数：16組・37名） ■協力：名古屋大学減災連携研究センター、名古屋都市センター、名古屋市港防災センター 後援：中日新聞社 ■内容：愛知県内の防災・減災の拠点をバスで移動し、親子で体験・体感しながら防災・減災を楽しく学ぶ 	
2016年8月 和歌山県田辺市 「避難所運営リーダー養成講座」	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：田辺市内の自主防災組織の会長、田辺市職員、和歌山県損害保険代理業協会メンバー等（参加者数：60名） ■共催：和歌山県、和歌山県損害保険代理業協会 ■内容：大規模災害時の避難所運営に関する講義、南海トラフ地震を想定した避難所運営の演習 	
2017年1月 広島県広島市 「防災講演会」	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：広島市内の自主防災組織のリーダーや民生委員、自治会・町内会の役員、消防団員等（参加者数：約400名） ■共催：広島市 ■内容：地震災害に関して、事前の備えや自助・近助・共助の意識向上等を内容とする講演会やトークセッション 	
2017年2月 東京都江東区 「防災士フォローアップ研修」	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：江東区民（江東区の自主防災組織「災害協力隊」の隊員で防災士資格を取得した区民）等（参加者数：146名） ■共催：江東区 ■内容：首都圏大規模水害の被害・発生リスク、広域避難の課題や今後の備え等に関する講演 	
2017年3月 東京都江東区お台場 「見て、感じて、備えよう！地震体験フェア」	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：一般消費者（参加者数：約1,300名※）※地震体験シアターの参加人数 ■共催：外国損害保険協会 後援：財務省 協力：東京消防庁深川消防署 ■内容：360度シアターとモーションシートによる地震体験、地震保険のパネル展示、応急救護体験等を実施 	
2017年3月【予定】 石川県金沢市 「能登半島地震から10年・市民フォーラム」	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：金沢市内の自主防災組織のリーダー、石川県損害保険代理業協会メンバー等 ■特別協力：北陸放送 ■内容：地震への備え、地域で防災リーダーが取り組む事項の講演や質疑・ディスカッション等 ※イベントの様相や協会の防災・減災の取組み等が北陸放送で放映予定	

第13回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」

【ぼうさい探検隊】

・子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設・設備を発見して、マップにまとめる実践的安全教育プログラムです。当協会では、2004年から全国規模でマップコンクールを実施しております。

・地域安全マップづくり等の実践的な安全教育プログラムが学校教育現場で実施されるよう、文部科学省で検討中の次期学習指導要領にも積極的に提言しております。



児童のコメント

現地でも多くの人に話を聞いて土砂災害のおそろしさを知り、防災の大切さを考えることができました。あの日を忘れず、これからも防災について学んでいきます。



▲第13回マップコンクール入賞作品（ぼうさい探検隊賞）

【主催】日本損害保険協会、朝日新聞社、日本災害救援ボランティアネットワーク
 【後援】内閣府、文部科学省、警察庁、消防庁、気象庁、UNESCO、日本ユネスコ国内委員会、日本ユネスコ協会連盟、全国都道府県教育委員会連合会、沖縄県、アジア防災センター、児童健全育成推進財団、日本損害保険代理業協会

第13回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式(2017年1月21日)の様子▼

